

iPro2 レコーダ洗浄・消毒方法

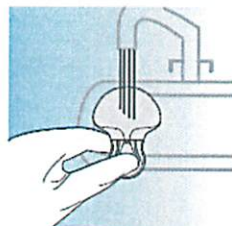
レコーダをセンサから取り外した後、ドックステーションへ接続する前に必ずレコーダの洗浄・消毒を行って下さい。ドックステーションを洗浄・消毒することはできません。レコーダは 60 回使用後、さらに使用を継続した場合、下記に記載する洗浄液、消毒液の影響によりレコーダが損傷する可能性があります。

1. 手袋を着用します。
2. レコーダのコネクタ接続部を確認して、体液の付着がないことを確認します。レコーダのコネクタ接続部に体液が付着している場合はレコーダを廃棄してください。
3. 液体がレコーダのコネクタ接続部に触れないようにクリーニングプラグをレコーダに取り付けます。液体はコネクタを腐食させ、レコーダの性能に影響を及ぼす可能性があります。



注意: クリーニングプラグをレコーダに取り付けた状態でねじらないでください。レコーダが損傷する可能性があります。

4. レコーダに粘着剤が残っている場合は、粘着剤リムーバで除去することが可能です。
5. レコーダを流水ですすぎます。



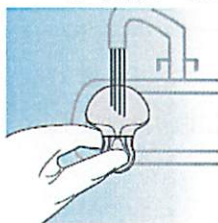
6. サイデザイム[®] (海外販売名: ENZOL[®] Enzymatic Detergent, ジョンソン・エンド・ジョンソン製)を準備し、専用ポンプで 1 プッシュのサイデザイム[®]を 1L の水で希釈します。
7. 6 で用意したサイデザイム[®]の希釈液にレコーダを 1 分以上浸漬します。



8. クリーニングプラグを持ち、レコーダ表面の有機物が取り除かれるまでレコーダ表面を柔らかいブラシで清掃します。



9. レコーダを流水で注ぎます。



10. レコーダ表面の液体を清潔な乾いた布で拭き取ります。

11. 0.6%次亜塩素酸ナトリウム溶液にレコーダを30分浸漬します。30分以上は浸漬しないようにしてください。

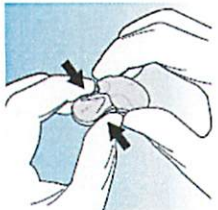


12. レコーダを流水で3分以上注ぎます。

13. レコーダを70%イソプロピルアルコールで拭きます。



14. クリーニングプラグの両端のつまみをつまんで、レコーダからクリーニングプラグを取り外します。



15. レコーダ表面にひび割れ、変形等の損傷がないことを確認します。レコーダ表面に損傷があった場合は、そのレコーダを廃棄してください。

16. レコーダを乾いた布の上に置いて乾燥させます。

以上で、レコーダの洗浄・消毒は完了です。